



県政報告 県政を身近に

埼玉県議会議員

武内まさふみ

令和7年
2025
冬季号

Vol.54

【発行】
埼玉県議会 自由民主党議員団

〈令和7年を迎えて〉

皆様には、健やかに令和7年新春を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。昨年は様々な選挙において、SNSなどのネット情報が選挙行動を大きく左右した感があります。マスメディアの情報だけでなく、こうした人々、特に若い人の声が政治に反映されることは、今後政治を動かす力になるかもしれません。私は、幅広い皆様から直接頂くご意見、ご要望を基に、引き続き、望ましい県や地域の在り方を提言してまいります。今年が明るい一年になることを心からお祈りいたします。

自民党議員団が提出した 条例2議案が可決・成立

●「中小企業制度融資の損失補償契約に係る回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例」

県保証協会が、制度融資を活用した事業者の代位弁済を行った場合、県は、事業再生計画が出されることを条件に、回収納付金を受け取る権利を放棄することができます。現状では県議会の議決が必要なので、企業再生が遅れたり、審議過程で企業名などが公にされることにより、事業再生が円滑に進まなくなることが想定されます。そこで、条例の制定により、議会の議決を経ずに知事が回収納付金を放棄できるとするものです。

この条例案は自民党議員団（事務局長：武内議員）がプロジェクトチームで検討し、提案したものです。本議案については、全会派一致の賛成を得て成立しました。施行は、平成7年4月1日からとなります。



▲提案者を代表して本会議で説明を行う武内県議

●「拉致問題の早期解決に向けた施策の推進に関する条例」

本条例案は、拉致問題を早期に解決するため、県の責務と県民の役割を定めるとともに、拉致問題に関する理解を増進し解決に向けた機運を醸成し、早期解決に資することを目的としたものです。この条例案については、賛成多数で可決されました。

令和6年12月定例県議会（令和6年12月2日～12月20日）

今議会では、当面对応すべき事業についての補正予算及び人事院勧告を踏まえた職員給与の改定等に伴う追加補正予算のほか、条例9件、工事請負契約の締結2件、訴えの定期1件、事件議決17件の議案が承認されました。また、令和5年度会計に係る決算が認定されました。

さらに、自民党議員団から提出された「拉致問題等の早期解決に向けた施策の推進に関する条例」及び「中小企業制度融資の損失補償契約に係る回収納付金を受け取る権利の放棄に関する条例」が可決、成立しました。

補正予算（一般会計、特別会計、公営企業会計）58億8,840万円

1 防災拠点校の体育館における避難者の生活環境の改善（債務負担行為の設定）

……限度額5,539億円

防災拠点校（高等学校）36校のうち10校の設計費について空調設置スケジュールを前倒しするため、債務負担行為を設定しました。これにより、令和6年度中に設計を行い、令和7年度中に体育館へ空調設備を設置します。

2 公共事業等の施行時期の平準化・適正後期の確保（債務負担行為の設定）

……限度額258億3,552万円

3 その他 ●競輪事業に係る費用の追加（公営競技事業特別会計）

……54億1,271万円

競輪事業のインターネット販売が好調に推移し、売上額が当初見込みを上回るため、一般会計繰出金等を増額します。

●富士見上南畑地区産業団地整備事業の事業期間を令和6年度から7年度に延長します。

（公営企業会計）4億8,138万円

●県有施設等における光熱費高騰への対応

（一般会計）……9億5,707万円

県有施設における光熱費の高騰などに対応するための増額。

県の水道料金が「水道用水料金徴収条例の一部改正条例」で値上げ

県水の水道料金が平成11年以来、27年ぶりに引き上げられます。現行料金61.78円/㎡が74.74円/㎡となり、21%の値上げになります。これは施設の老朽化や電気料金、物価高騰の影響による維持管理費の増加と、人口減少や節水意識の向上による給水量の減少により、事業環境が厳しくなっているためです。

「工業用水料金徴収条例の一部改正条例」

水道用水と同様、工業用水道料金も平成5年以来、32年ぶりに引き上げられます。基本料金、特別料金、超過料金とも現行料金から35.3%の値上げになり、県の工業用水道料金は、令和7年度は現行料金を据え置き、令和8年4月1日から施行になります。県水を導入している3町においても、料金改定が予想されます。

参考までに、県内市町村における県水の受給率は、全体平均で78.8%（R5実績）、うち毛呂山町は47.9%、越生町は44.6%、鳩山町は83.5%となっています。

参考までに、県内市町村における県水の受給率は、全体平均で78.8%（R5実績）、うち毛呂山町は47.9%、越生町は44.6%、鳩山町は83.5%となっています。

手数料の改定 ※令和7年3月24日から

パスポート発給手数料

現行	改定後
2,000円 (16,000円)	書面申請 2,300円(16,300円) オンライン申請 1,900円(15,900円)

※（ ）内は10年旅券の国手数料との合計額

マイナ免許証に係る手数料

現 行	改 定 後		
新規取得 2,050円	免許証 2,350円	マイナ免許証 1,550円	両方 2,450円
免許更新 2,500円	免許証 2,850円	マイナ免許証 2,100円	両方 2,950円



進む河川の安全対策

近年、集中豪雨による水害が頻発しています。当地域においても、台風の到来により、床上浸水の被害が起こっています。こうした水害を防ぐため、県では河床の浚渫などの河川改修工事を進めています。

河川堆積土砂掘削工事の実績 (令和5年度、6年度)

	町名	河川名	地先	箇所 No.
令和5年度	毛呂山町	毛呂川	毛呂本郷外	R5①
	越生町	越辺川	黒岩	R5②
			越生外	R5③
令和6年度	毛呂山町	葛川	西大久保外	R6①
		高麗川	下川原	R6②
		越辺川	西戸	R6③
	越生町	越辺川	堂山・小杉	R6④
			越生	R6⑤
令和7年度 予定	毛呂山町	大谷木川	中央	R7①
	越生町	越辺川	西和田	R7②

R6④越辺川(越生町 堂山・小杉地内)



掘削前

掘削後

R6①葛川(毛呂山町 西大久保外)



掘削前

掘削後



旧毛呂山高校跡地の 売り払い手続き始まる

県が所有している旧毛呂山高等学校跡地の土地と建物について、一般競争入札により県有地の売り払いを実施することになりました。入札参加申込期間は2月5日から2月12日まで、入札・開札は2月21日の予定です。



県が埼玉医科大学と「保健医療連携協定」を締結

埼玉県と埼玉医科大学が、「保健医療に係る連携に関する協定」を締結しました。(12月4日)

これまで、同大学と県は保健医療体制の整備に関し、多岐にわたる事業において緊密な連携を図ってきたところです。両者は、県全体の人口減少と高齢者人口の増加が進む中において、将来にわたり持続可能で質の高い保健医療体制の確保・充実を図るため、改めて協定を締結し、「地域医療提供体制の強化」、「地域医療を支える人材の育成及び確保・定着」などについて連携を推進していくものです。



▲左から竹内学長、大野知事、丸木理事長

武内まさふみの活動日誌

■県道新川越越生線建設促進に関する知事要望(10月23日)



▲知事公館にて県土整備部と

■防犯のまちづくり街頭キャンペーン(10月25日)



▲坂戸駅西口にて

■西入間地区地域安全・暴力排除推進大会(10月2日)



▲坂戸市入西地域交流センターにて

■県林業対策協議会による知事、議長要望(11月6日)



▲県庁会議室にて知事への要望

企画財政委員会の視察(11月18日～19日)

■Aスクエア(山陽小野田市)

Aスクエアは、官民連携手法のひとつ「LABV」を国内で初めて採用し整備された複合施設です。市商工センターの跡地に、市、商工会議所、銀行、山口東京理科大学の学生寮、民間テナントが入った施設で、令和6年3月に竣工しました。

※LABV(官民協働開発事業体):自治体が所有する土地の現物出資と民間事業者等による資金出資を併せて組成する共同事業体が事業実施を行う新たな官民連携手法。



▲施設の説明を聞く委員一行

■やまぐちDX推進拠点

Y-BASE(山口市)

山口県は、Y-BASEをDX推進の拠点施設として、DXに関する相談対応や技術支援を総合的にに行い、県内企業や市町村を支援しています。



▲AI技術の活用についての説明

埼玉県議会2月定例会のお知らせ

令和7年2月19日(水)から3月27日(木)までの開催予定です。会期日程等は県議会HPでご確認ください。